

当事者の声

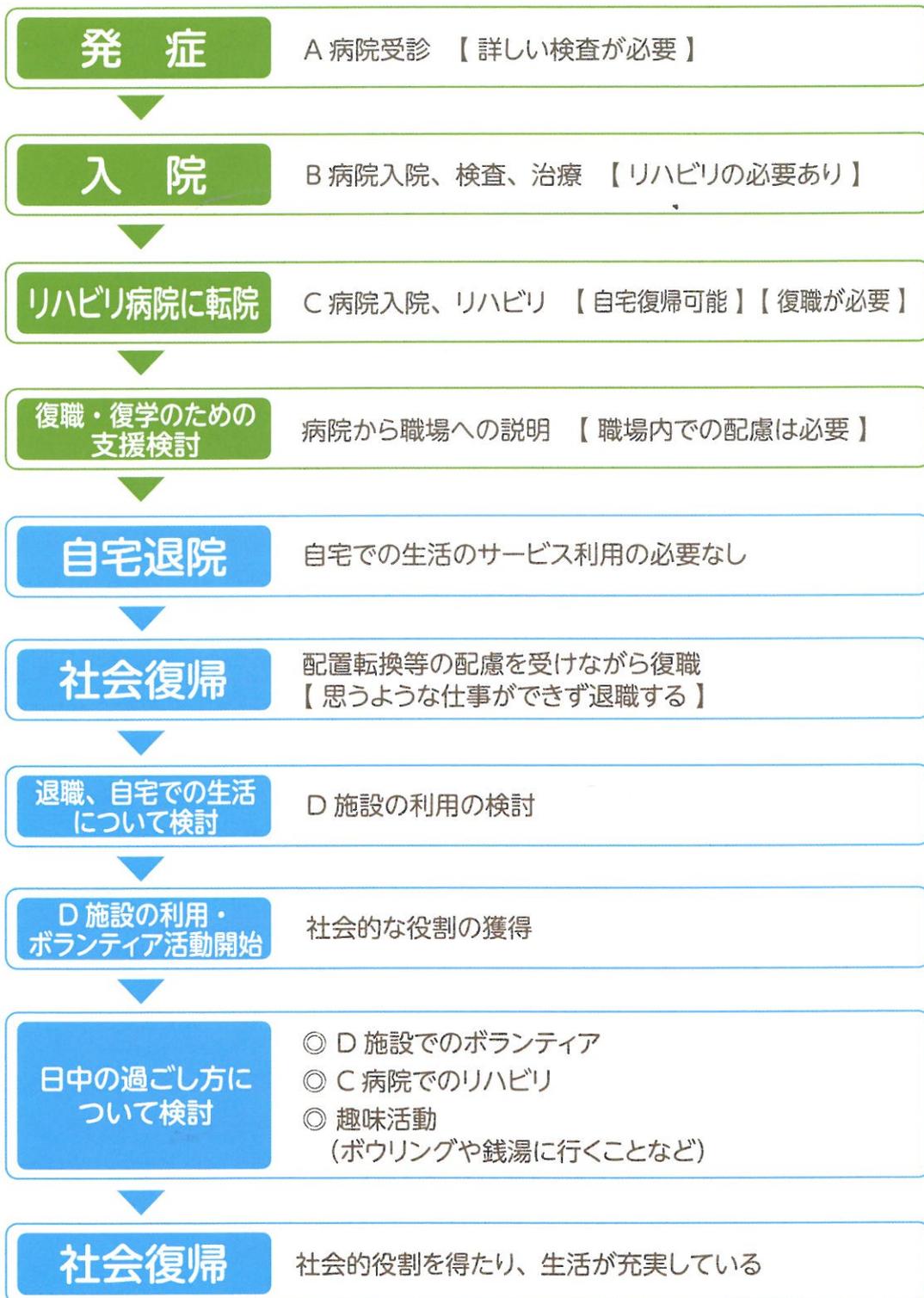
～インタビューを通して～

今回本紙の作成にあたり
お二人の当事者の方々から
発症当時の出来事や現在に至るまでの
体験談を伺う事ができました。

同じ境遇の方の為になるならということで
ご協力いただくことができました。
当事者の生の声をお聞きください。

※本人および家族の許可をいただき、表現や内容を一部変更した箇所があります。

Aさんの発症から今までの流れ



Aさんは左脳出血を発症されました。体の麻痺はありませんが、言葉が思うようにならない、うまく聞こえないというタイプの失語症や右側の半盲があり、一度にたくさんのことをすることが難しい症状がある方です。現在は仕事を退職されており、福祉施設でのボランティア活動や趣味活動を行いながら生活されています。

Aさん 59歳 男性の場合

■ 病気になった時のことを教えてください。

病気になったときのことは全部わかっている。なんとなく具合が悪いのではなく、寝れなかった。これはおかしいなと思った。

その日の仕事は夜勤だったから、夜勤が明けたら病院に行きますと職場で説明したら、上司が「具合が悪いなら、今病院に行ったら?」と言ってくれたので、「ありがとうございます」って言って病院に行った。

目がちかちかしたから、まずはA病院に行った。尿検査とか血液検査をしたんですよ。何かおかしかったんだね。先生が、詳しい検査をしている別の病院に入院したら?って言うんだよ。

私はたばこを吸うんですけど、その後にたばこ吸っている時にバーンってなったんです。その時に頭の出血がわかったんですよ。病院で横になって、出血した場所を下にして「すいませーん」って声を出した。そしたら看護師がきたから、先生を呼んでもらったんですよ。それから、救急車お願いしますって言って、その夜にB病院に行った。そこで手術をお願いしますって俺が言ったような気がする。「後はお願いします。」って。手術した後は知らない。

■ 手術が終わった後は全然覚えていないですか?

手術が終わったな。ってのは感覚的にわかった。

「あなたの名前は?」とか色々聞かれたかな。名前は言えなかったです。でも、言えないけど何か言っている。私は何歳だとか、数とか何かを言った記憶は確かにある。でも、わからないんですよ。3日くらいたって、やっと名前が言えた。

■ その後、リハビリのためにC病院に転院することになった時のことは覚えていますか?

不安は全くなかった。

最初に入院したB病院でも何かやりたいと思って歩いたりはした。腹筋とかしていいって言われてやっている人もいたが、具体的に「何をしなさい」っていう人はいなかった。

出血した時は、I市で働いていたからまたI市に戻るつもりだった。でも、面倒くさいから仕事を辞めたいと思った。なぜかという、いくらやっても治らないぞと思ったから。

■ 治らないと思った?

何とか言うことは言えるが、新聞が読めないしうまく喋れない。

さっき言った言葉も明日になれば、また言えるかどうかわからない。わからないってことは自分でわかる。でも、説明できないから、メモに書いておいてそれを見せしている。

■ 症状が残ったまま退院となった時のことは覚えていますか?

本当はI市に戻って仕事を続けたかったができないだろうと思った。I市の職場では十何人いる中の一人で年齢も年齢だったから、ハンコを押すくらいで書く仕事もなかった。いろいろやりたいんだけど、話せないから。正式にお金をもらって、ものも言えないような仕事はしたくない。

みんなは「大丈夫だ」「座っているだけでもいい」など言ってくれるが、そういうのが嫌だった。

単純なことも喋れない、電話に出て相手をわかっても言葉が出てこない。「掛け直してください」というのが精一杯だった。お金を貰うほどの仕事がないのに、そこにいるのが苦痛だった。

喋れないことを伝えるのが苦痛。そういうのは仕事じゃない。辞めたい、やれないと思った。

少しは良くなったと言われるが、4年たっても変わらないように思う。

■ どうやってそのような気持ちを整理していけましたか?

仕事ができないことはわかったから、仕事を辞めて家の草取り、冬であれば雪かきをしたりしている。そこをやりがいにしている。

近所の人顔はわかるが名前がでてこない。だか

ら、書いてるのを見ながら話している。妻に今日あの人に会ったということと話したいが名前がでてこない。町内会の役員などもやったから人はわかるんだけど、やっぱり名前がでてこない。

(病気になる)前にやっていたことで、できることをやっていこうかな。運動もある程度できるし、喋れないけど目的はわかるし。

■ 今は、どのような生活をされておられるのですか？

そうですね、雪が降って外に出ることがなければ、部屋の中でジグソーパズルをしたり、小学3年生くらいの勉強を30分くらいしている。やっている、頭がそれで一杯になる。そして、何をやってるのかわからなくなるくらい目がちらちらしてくる。

■ 自宅の生活以外で、利用しているサービスはありますか？

(C病院の)言語聴覚士の先生にいろいろ教えてもらった。

制度についてはあまりよくわからないから、C病院で聞いたものを使ってた。「相談していいよ」っていうから今も通院は続けている。

それから、D施設のデイサービスでボランティアをしている。自分より大変な方や車いすの人もいる。その人達が集まって、話をする時に移動する手伝いとかをしている。私のことを知ってる人は、一緒にやりましょうって言ってくれる。一緒に書いたり、話したり、まあそういう感じです。

朝からいると、お茶を出したり、血圧測って記録している。仕事ではないが家にいるよりいいかな。喋れない部分は同じだけど、いいのかな。

■ ボランティアで利用者さんのお手伝いをされているのですね。

ボランティアは週3回で一日います。日数は私が勝手に決めている。あんまりやって負荷になると嫌だ。

お金になるものではないけど、迷惑にもならない。変に要求されると私はできないけど、(D施設の)社長は俺のやっていることに口を出してこない

から、まあ、いいかな。

あとは、だいたい週に1回B病院でリハビリをしている。水曜日は遊んでるもんだな。

■ D施設のほかにもB病院でリハビリをしたり、遊んだりしてるんですね。ところで、どのような遊びをしているのですか？

ボウリングに行ってます。

元々は夜に行っていたけど、自分は車の運転はできないし、夜は妻と一緒に銭湯に行ったり、寝ているから、日中に遊ぼうと思って昼間に行っています。

■ 今の生活について思っていることを教えてください。

今の生活に点数をつければ、90点。自分でもこの位できればいいかなと思っている。

同じことを繰り返して話した時に、それはなんとかでしょと言われると、気が狂いそうになる。

仕事を辞めてからはだいぶ楽になった。

D施設でのボランティアではそういうことが一回もない。職員が一人一人にうまく接しているから。私より喋れない人も一杯いるけど、誰かがががしゃべっている時にはみんな黙って聞いたりしている。

■ 何か目標はありますか？

60歳までは今のままで、60歳を過ぎたら次を考えようと思っている。

目標は、子どもたちと一緒に過ごすこと、年寄りと運動すること、あと、市の職員との協議があるからそれをやりたい。

今は勉強をやりたい。小学校3年生のドリルをやっている。

■ 脳卒中になった方に何かメッセージがあればお願いします。

D施設で見えていたわかった。(特別なことは)何もする必要はないと思う。一つ一つ喋れるようになっていけばいいと思う。みんな助けてくれるから。苦しみをばかりにしないで生きていけると思う。

Bさんの発症から今までの流れ

発症

E 病院受診、治療

入院

F 病院入院、治療 【リハビリの必要あり】

リハビリ病院に転院

G 病院入院、リハビリ 【自宅復帰可能】【復職が必要】

**復職・復学のための
支援検討**

◎ 介護保険の検討
◎ 身体障害者手帳の検討 【支援は不要】

自宅退院

自宅での生活のサービス利用の必要なし

社会復帰

サービスを使わずに復職 現在も継続中

Bさんは、左脳出血を発症されました。軽い失語症と焦りやすくなるような症状が残った方です。現在は、職場に復帰されて、毎日勤務されています。

Bさん 61歳 男性の場合 (※■部は妻の話)

■ 発症のころのお話を聞かせて下さい。最初の発症した当時の記憶、自身の感覚は覚えていますか？

思い出してもわかんないね。

病気（脳出血）になって 10 分くらいは覚えているが、失神してから覚えてない。救急車がきたのも覚えていない。最初に運ばれた E 病院は全然覚えてない。F 病院から G 病院に転院したところから覚えている。車からおりたけど歩けなかったから覚えているんだ。

G 病院に行く直前にやっとはっきりしてきたような感じじゃない？

歩けなかったから車椅子だったと思う。

でも G 病院に入院してよかったな。リハビリをしっかりとできてお世話になった。スタッフの皆さんにはよくしてもらった。

入院している間は、会社を留守にしていたので従業員に頑張ってもらった。

退院した後もなかなか動けなかったからみんな苦労したと思うけど、本当にありがたいです。

そういう意味では、入院中も退院した後も色々な方々に支えられて今を迎えています。

■ 退院されて 2 年ですが、今はフルタイムで仕事出来る状態になりましたか？

完全ではないけどね。自分で考えて行動できるようになったのは、退院して 1 年くらいたってから。その間は、大変だったよ。今思えばあれがうつ病じゃなかったかなと思うよ。

■ それは退院してからですか？

入院中も含めて。その時は自分ではうつ病ではない、こんなものかなと思ってたけど、今振り返ればうつ病だったのかなと思う。何かね、体も疲れやすかったし、肉体的欠陥の方に目がいってしまって、精神的なことがおそろかになっていた。精神状態が元に戻ることが一番の問題じゃないか。

この病気は元に戻るのに時間がかかるし、後遺症も多少残っている。だから、精神的なものをきちっと戻すことが大事じゃないかな。

■ 精神としての状態をお聞きしましたが肉体的なところは入院中から退院後どのように変化しましたか？

働き始めてからのことなんだけど、肉体的なものと一緒にないんだよね。精神は進んでるけど肉体がちよっと遅れて後から来るみたいなの。

例えば、今日は忙しいから夜の 10 時ころまで仕事したいなと思っても、夜の 7 時か 8 時くらいには疲れてできなくなっちゃうんだよ。

あのころは、まだ完全に体の機能が回復していない状態だったと思うんですよね。病気になって 1 年、2 年くらいまでは自分の思う通りにいかなかった。

9 時には寝たくなる。意識的に寝ようと思わなくても、眠くなるんです。1 年くらいは昼間でも仕事で座ってても眠くなる。眠っちゃうんだよ。

■ 退院してからすぐに仕事復帰したんですか？慣らしながら徐々に仕事復帰をしましたか？

すぐ仕事に復帰しましたよ。

ここにきて、一日も休まなかった。どんなにつらくても来たね。嫌だと思っても、行くと気持ちもよかった方がいいね。

■ 自分でやろうと思う気持ちが大事ということですね。

そうそう。来てすぐは体力に自信がなかったから、職場から職場の入り口までの 200m 位を毎日 10 往復した。

これを克服しなければならないと思って、痛くてもなんでも、歩いたね。

始めは体が痛くてできなかった。でも頑張ったね。今はひとつも痛くない。

事務仕事としては、パソコンとか一切できなくなっ

た。使い方を忘れちゃったから書いていたよ。でも、一回やれば大丈夫なんだよね。

過去の経験がゼロになったわけではなく、何か一つ始めると記憶がつながるっていうか思い出すみたいです。

■ お仕事でお車を使われているようですが自動車の運転についてお聞かせ下さい。

病気になっても、運転できればいいなあと思っていた。やらないで家でじっとしているのはダメだ。

脳卒中になった人が受ける検査があって、検査する人が私たちや病気のことを理解してくれて、親身になって運転動作の確認を何回も行なってくれた。おかげで無事に合格して運転するようになったんだよ。助かった。ぜひ、みんなにも勧めたい。

■ 行動範囲が広がりますよね？

そうそう。同じ脳卒中になった人もね、私が運転免許取ったことを聞いて、取った人もいます。

私は本当のところ、取る気はなかったんだけど、奥さんが「取れ、取れ」って言うからとったんだ。でも、それで良かった。自信になった。

一人で運転して北海道に行ったこともあるしさ。鳥取にも行ったね。病気になっても、できるなら運転をやればいいのにとと思う。(病気になっても) 普通の人間と変わらないんだよね。

これからは新しい人生になったからね。新しい人生なりの考え方とか、生活を持たないとね。

■ 今までのお話の中で前向きに努力されていたことが伺えますが、自分の向上心を常に保っていられたところは何だと思えますか？

難しいけど、新しい世界で新しいことをするという考え方。生まれつきの性格もあると思うよ。僕の性格だよ。あと、僕の場合やらなきゃいけないことがあったのも確かにあるね。あと G 病院の人たちが心の支えになりました。

■ ご本人が病気になってから奥様が心がけたこと、今心がけていることなどありますか？

生まれつきの性格もあって前向きで明るい人だった。でも、落ち込んで、そこからすぐに前向きになることは、難しいと思う。でも仕事が始まったら、そんなこと言っていられないし、責任をもってやっていってもらわなきゃいけないと思って、お尻を叩いて、やってもらった。元々責任感はある人だから。

家では自然体で、仕事ではテキパキ叱咤激励で。それは変わっていませんね。

■ 自身の経験として実践して学んだことはありますか？

G 病院に入院してから欠かさず日記をつけている。初めは字がうまく書けなかったが、だんだん上手になってきた。右半身麻痺なので、左での筆記が上手になった。利き手が麻痺になった人には勧めたい。

書くことによって、心も見つめることができるのではないかと思うしね。

■ 退院した後に制度やサービスを使いましたか？

奥さんやみんなに介護保険とか身体障害のサービスは利用したほうがいいんじゃないかと言われた。だから、真剣に考えましたが、まだ、大丈夫と思って私は使わなかったですね。しっかり働くことが目的としてあったからね。

■ 同じ病気の方に何かメッセージがあればお願いします。

脳卒中は、当り前にある病気。精神的に落ち込む人と、落ち込みにくい人と、様々だと思う。

身体が動かなくなるのはしかたがないから、精神的に回復する方が大事だと思う。ゆくゆくは退院してから、同じような人同士の繋がりが必要じゃないかなと思います。

※ あくまでも個人の体験談であり、その人に合った方法や良くなり方には個人差があります。